

ダイオキシンをさらに減らすために

県内で発生したダイオキシンのうちの多くは、私たちの家庭から出たごみや産業廃棄物の焼却によるものです。県内のダイオキシンの排出量を減らしていくためには、皆さんのご協力が不可欠です。

家庭でゴミを燃やさないで！

家庭用のごみ焼却炉や事業所の小型焼却炉のほとんどは、燃焼温度が十分に上がらないなど、不完全燃焼を起こしやすく、ダイオキシンを多く発生させるため使用できません。

もちろん、庭先などで焼却炉を使わずにごみを燃やしたり、ドラム缶などを使って焼却することもできません。

ごみを減らす工夫を心がけましょう

ダイオキシンを減らすためには、ごみを減らすことが何よりも効果的です。

必要なものを必要なだけ買う、使い捨て商品は買わない、長く大切にものを使う、過剰な包装は控える、レジ袋はもらわないなど、ごみを作らないように心がけましょう。また、ごみを分別しリサイクル

ルを徹底するなど、私たち一人ひとりが、毎日の生活を見直していくことが大切です。

問合せ

県青空再生課企画調整担当
☎048-830-13057
住民福祉課保健衛生係
☎62-11230 内線106

家庭用簡易焼却炉を無料で回収します

焼却灰を除去し、2トントラックが進入できる場所まで搬出してください。

期日

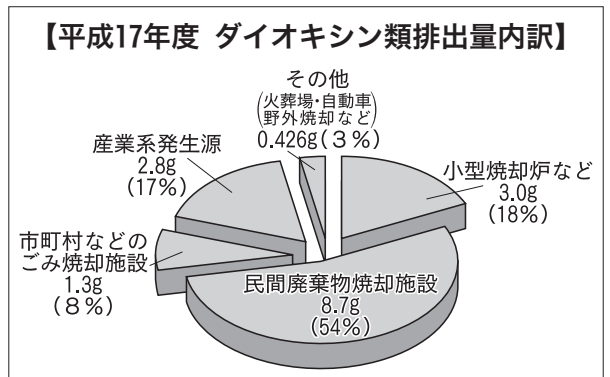
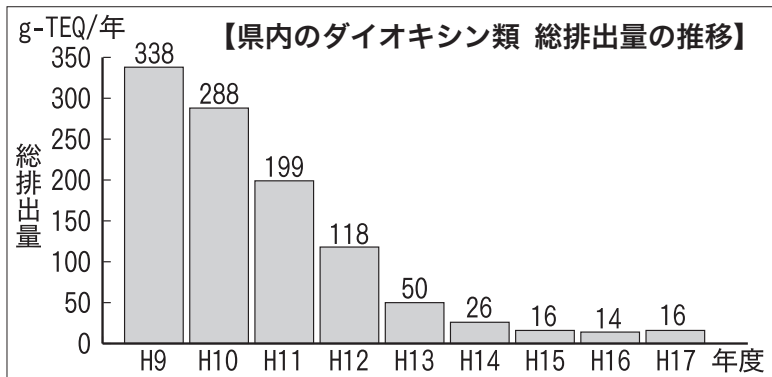
11月下旬を予定（申込者には後日回収日を連絡します）

対象

- ①家庭用ブロック積簡易焼却炉（ブロック積焼却炉はブロック単位に解体）
- ②家庭用スチール製小型焼却炉（ドラム缶を除く）

申込み

11月15日(木)までに住民福祉課保健衛生係へ



e-Tax

(国税電子申告・納税システム)



を始めてみませんか

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用すれば、e-Tax用申告データが作成でき、作成したデータを直接電子申告することができます。

e-Taxを利用すると、税額控除が受けられたり、一部の添付書類が省略できます。

- 確定申告書等作成コーナー <http://www.nta.go.jp>
- e-Tax ホームページ <http://www.e-Tax.nta.go.jp>

平成19年度にスプレー缶が原因と思われるごみ収集車の火災が2件発生しています。スプレー缶などのエアゾール缶には、可燃性ガスが噴射剤として充てんされているものもありますので、中身が残ったままご

スプレーなどのエアゾール缶に中身が残っていると火災事故の原因となります



みに出すと、収集・処理時に火災事故を引き起こす可能性があります。エアゾール缶を捨てるときは、必ず使い切ってからごみに出してください。

缶に穴を開けるときの注意点

- ・商品の説明書を良く読んでから行う。
- ・作業は風通しの良い戸外で行う。
- ・水の中で穴を開ける。(水の中で行うことで摩擦による発火を防ぐことができます。)
- ※最近では、残った缶の中身を簡単に抜くことができるキャップなどが付いたものも販売されています。

問合せ

秩父広域市町村圏組合業務課
☎23-12489